

議員提出議案第1号

イランをめぐる軍事行動の即時停止と、国際社会の対話による平和的解決を求める決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

令和8年(2026年)3月26日

提出者 八王子市議会議員 金子 亜希子

賛成者 八王子市議会議員 綿 林 夕 夏

同 森 喜 彦

同 玉 正 彩 加

同 安 藤 修 三

同 市 川 克 宏

同 石 井 宏 和

八王子市議会議長

美濃部 弥 生 殿

イランをめぐる軍事行動の即時停止と、国際社会の対話による平和的解決を求める決議

2月28日、米トランプ政権はイスラエルと共に、イランに対する軍事攻撃を開始し、首都テヘランや各都市を爆撃した。この攻撃によりイランの最高指導者ハメネイ師が殺害され、そのほか子どもを含む多数の市民も犠牲となっている。国連安全保障理事会は緊急会合を開き、アントニオ・グテーレス事務総長が即時停戦を呼び掛けたが、イランも反撃を始め、イスラエルや米軍基地のある周辺国をミサイル攻撃し、米兵にも死亡者が出ている。さらに、中東、ヨーロッパ諸国を巻き込んだ報復行為の応酬が続き、市民の生活が破壊され、大変憂うべき現状である。

米国とイスラエルによるイランへの先制攻撃は、国際連合憲章や国際法を無視した暴挙に他ならない。米国とイランは2月26日、イランの核開発をめぐる協議を再開し、合意には至らなかったものの一部進展もあり、3月2日にはオーストリアの首都ウィーンで実務者レベルの協議を行う予定であった。それを覆した米国のイラン攻撃は、暴力によって屈服を迫る砲艦外交であり、国際秩序を崩壊させかねず、これを看過することはできない。

よって、八王子市議会は、イランをめぐる軍事行動の即時停止と、対話による平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

令和8年（2026年）3月26日

八王子市議会